

事業主の皆さまへ

令和5年度の財政状況 に関する重要なお知らせ

今期の財政収支の見込みと来期収支の推計を
10月27日開催の第110回組合会に付議いたしました。
来期、令和5年度の一般保険料率につきましては
今年度と同率とする方針が承認されました。

また、介護保険料率につきましても
一般保険料率と同様の方針が承認されたことを
お知らせいたします。

これらの方針に基づき、
来期の事業計画の策定及び予算編成に取り組んでまいります。

令和5年度の予定保険料率（※年明け2月の組合会で正式に決定）

- 一般保険料率（調整保険料率含む） **8.5%（85/1000）**
- 介護保険料率 **2.0%（20/1000）**

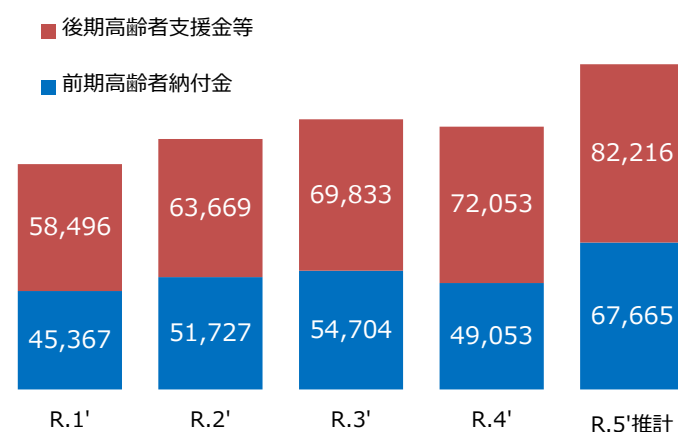
関東ITソフトウェア健康保険組合
Kanto IT Software Health Insurance Society



高齢者医療制度に係る支援金・納付金は今後も更なる増大が見込まれる

- 平成29年度に後期高齢者支援金が全面総報酬割に移行し、前期高齢者納付金にも総報酬割を加味した負担調整が実施されました。
- 令和4年度の納付額は、令和2年度のコロナ拡大による高齢者医療費減の精算戻り等の影響により、一時的に納付金額が減少しました。
- しかしながら、令和5年度は団塊の世代の後期高齢者移行が進行することで、高齢者医療費が急激に増加するため、約1,500億円を見込んでいます。

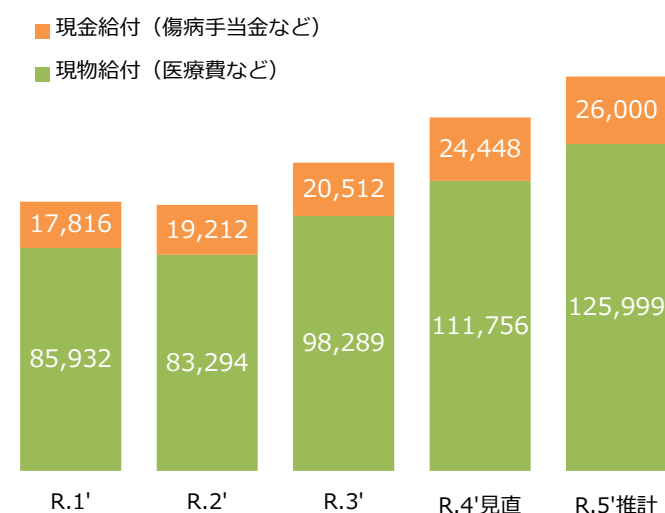
高齢者医療への納付金等の推移（単位：百万円）



法定給付費の年間推移は引き続き大幅な増加傾向が見込まれる

- 法定給付費のうち、医療費にあたる現物給付費は、加入者数の増加に伴い年々増加傾向にありましたが、令和2年度のコロナ拡大による受診控え等の影響から一時的に減少となりました。
- しかしながら、令和3年度の現物給付費は、コロナ特例による「救急医療管理加算」等の診療報酬点数加算により大幅に増加、令和4年度もコロナ患者数の急拡大の影響を受けており、例年よりも急増しています。
- 令和5年度においても、直近の傾向から引き続き医療費は大幅に増加することが想定されるため、約1,260億円を見込んでいます。

法定給付費の推移（単位：百万円）



一般保険料率と介護保険料率は、今年度と同率で据え置く方針

健保組合は後期高齢者医療制度を支えるため、「後期高齢者支援金」を支出しておりますが、この「後期高齢者支援金」について令和5年度から令和7年度にかけて、これまで以上に大幅な増加が見込まれております。これは「団塊の世代」が後期高齢者医療制度に完全移行し、医療費が大幅に増加することで制度を支える現役世代からの支援金も増額となるためです。

高齢者医療のための拠出金負担の増加のほか、法定給付費の大幅な増加も相まって、医療保険制度全体の財政動向は予断を許さない状況にあります。来期の財政見通しは、これまでの積立金等を繰り入れることにより保険料率を変更せず、予算を編成することができるとの見通しです。

当健保組合は、これまでどおりデータヘルス計画を通じた保健事業を実施し、加入者皆様の健康推進と医療費適正化等に取り組むとともに、中長期的な事業運営に資する様々な方策を検討してまいります。

現役世代に加重な負担を強いる高齢者医療の増大を抑止するため、公費負担の拡大を訴え続けるとともに、組合員とご家族の皆さまの健康を守ることを使命とし、事業運営に取り組む所存です。